

第4回 石川町部活動地域移行推進協議会 議事録

- 日 時 令和8年1月7日（水）午後6時30分～午後8時20分
- 場 所 石川町総合体育館（ミーティングルーム）
- 出席者 委員10名（欠席 1名）
事務局6名（教育長、教育課長、主幹兼課長補佐、
生涯学習課長、スポーツ振興係長、スポーツ振興係主事）

- 議事

- (1) 部活動地域移行（地域展開）について（教育委員会から説明）

- ①前回会議の振り返り
 - ②地域移行（地域展開）の基本的な考え方
 - ③これまでの具体的な取組みについて
 - ④外部指導者の確保について（意向調査の結果）
 - ⑤令和8年度の実施方法
 - ⑥今後の事業体制と役割分担
 - ⑦町の負担経費
 - ⑧今後のスケジュールについて（予定）

- (2) その他

- 第5回推進協議会について
 - 次回は3月中旬を予定

発言内容

委員

4月から活動開始だが、2団体以外で途中から外部指導者が確保できた場合の任用の可否と実施時期、学校等との調整については、どのようなになるのか。

会長

事務局から説明の前に、学校に確認しておきたいのだが、中学校の先生方の地域展開への不安や考え方など、認識はどうか。

委員（校長）

3回までの推進協議会の内容は、先生方に周知している。休日の部活動に外部指導者がサポートしてくれる。この町の方向性については理解している。できれば、主体は顧問、外部指導者はお手伝いとして進め、慣れてきたら任せるという認識でいる。

会長

保護者はどうか。

委員（校長）

特に今のところ、意見等は聞こえていない。

事務局

委員のご意見に対して、地域の方にご協力いただきたいので、年度途中でも外部指導者が指導することは可能。町もサポートしながら学校と調整していくので、年度途中でもお願いしたい。

委員

昼間以外の時間帯（夕方）の調整の仕方はどうなのか。活動は、部活動としての活動時間になるのか。保険に加入してくれても責任の所在はどうなるのか。

委員（校長）

現在、休日の部活動は午後の活動もあるが、午後4時からだと活動時間が3時間なので、夜7時までやることになる。そうすると、保護者の送迎が必要になるので、そのような事は想定していない。万が一実施するとしたら、送迎等の承諾書を保護者からいただく事になる。部活動の活動時間は冬季は5時、それ以外は6時までなので、ここが基準となる。

会長

夕方からしか協力できないという外部指導者の対応はどうするのか。

事務局

学校の決まりや夜に活動できる設備がないことから、初年度は活動環境を踏まえて、部活動の活動時間内で指導できる方をお願いしたい。

委員

外部指導者を探すにも条件が狭まるとなかなか確保が難しい。

委員

部活動の基本的な考え方を踏まえて進めるべきだと思う。部活動を通して、学年を超え、仲間として同じ目標に向けて取り組むことで、人間性や協調性が養え、地元愛が生まれ、後輩や後世に伝える気持ちが生まれるのが部活動であると思っている。

ソフトテニスも当面は関われるかと考えてはいるが、指導者の年齢も高齢化してきており、持続可能なのかは分からない。ソフトテニス協会加盟者も10名程度で協会の維持も困難になっている。ただ、現在、協会では指導者資格の取得に取り組んでいるが、取得には2ヶ月を要する。また、費用が50,000円かかり登録料も10,000円ほどかかる。競技によって金額は違うが、協会で地域移行として派遣するまではできない。あくまで個人で外部指導者として登録できる地域連携レベルである。

地域移行で大きな課題は、人材育成だと考える。ソフトテニス協会は女子も男子も高校生は活躍しているが、将来地元に戻り、スポーツに関わってくれるか分からない。部活動の目的を忘れず関わっていけたらと思う。

会長

部活動の目的と人材育成の確保が課題とあった。部活動の目的では、学校の外からと中学校の先生の部活動への見方は隔たりがあると感じる。大会で活躍することもあるが、学校では生活指導でもある。生徒がよりよく育っていくための1つに部活動がある。大会で活躍する事だけでなく、顧問の先生と生徒の関わり方や生徒への成長についての考えとして部活動がある。先生が捉えているものを外部指導者がどうやって共通認識を図りながら関わっていくか、顧問と外部指導者が密になる必要がある。

先生は得意な種目や全くやったことのない種目に顧問として配置される。この辺も加味して、外部指導者と顧問は、お互いの関わり方を打合せしてほしい。

人材育成については、指導者派遣型で石川町は実施していくが、国が示す部活動の完全移行までと言われている令和13年までには中体連もどうなっていくのか。夕方の指導となると外部指導者の確保はさらに困難になる。町として、将来のことも想定して考えていかなければならないと思う。

委員

外部指導者の人数は、個人を確定してなのか、枠なのか。指導者を決められてしまうと確保していくのが難しい。チームとして、数人で指導にあたることが可能であれば、共有を図りながら取り組む必要はあると思うがチームでの指導は可能か。また、継続していくにあたり、月報や計画の提出は必要だと思うがどうか。

委員

スポーツとして広く年代問わず楽しめるスポーツとしていくのか。健康スポーツなど対象を広げ、世代間交流を実施している市町村もある。

会長

外部指導者の1～2名の指導者は固定の人なのか。チームでもよいのか。

事務局

枠で捉えていただいて構わない。指導者によって指導方法が違うなど、生徒が混乱しない指導をしていただければ、チームでもよい。ただし、保険加入の関係上、指導者になる人の名簿は提出してもらうことになる。

委員

町外者の指導者の旅費はないのか。また、外部指導者を町職員として採用して、指導者として活動してもらえればよいのではないのか。フィルも外部指導者の確保は困難になってきており、継続していくのが難しい。

事務局

今の段階では、交通費込みの謝金と考えている。

委員

中体連で県・東北・全国と出場した場合の外部指導者の謝金の対応はどうなるのか。顧問だけでは、大変なので引率をお願いされることがあるという意見があったのでどうなのか。ハンドボールは、地元の選手で勝ちたい思いがあり、将来は、地元に戻ってきて関わってほしいと思っている。それには、中学校のうちからスポーツと勉強の両立を図りながら、教えた子どもたちが戻ってきてくれて指導してくれるような環境を作りたい。

事務局

今の段階では、土日のどちらか3時間だけの実技指導だけをお願いしたいと考えている。初年度は、実技指導のみ、大会の引率までは想定していない。

委員

令和11年度までに、休日の部活動が完全移行になった場合、学校から地域へ移行した時のことは町として考えてほしい。全国大会に出場した場合など、学校から地域クラブ等へ移行した時の活動費用の支援など、そう遠くない事だと思うので、今から検討をよろしくお願いいたします。(要望)

会長

全国大会等に出場した場合の外部指導者引率の補助金をお願いできたらと思う。種目によっては、引率が可能な場合もあるのではないかな。

委員（校長）

部活動指導員は可能だが、外部指導者は参観者扱いとなる。

委員

ハンドボールは、顧問は全体の責任者、外部指導者は、日本協会に申請して許可を得て、尚且つ、学校長からも許可を得てとなる。

委員

ソフトボールは野球として考えているが、2年生は5人しかいなく、指導者派遣は難しい。小学6年生が中学校に入ったら6～7人は入るので単体で活動できるが、新人戦になれば、また合同チームとなる。野球は、今年の秋からクラブチームの立上げに向けて進んでいる。そのため、クラブチームとして認定してもらい、練習会場を中学校のグラウンドを借用したい。さらに、活動費の補助などの支援をお願いしたい。郡内で1チーム作るのが精一杯。今はどこの競技も同じだと思う。

委員

バスケは古殿町でクラブチームを作っており、石川町の子どもたちも古殿町に参加している。ハンドボールも今はいいが、数年後は減ってくる。完全移行となり、クラブチームとなれば、市町村や学区関係なく、活動するようになる。

石川町でクラブチームが作れば、他市町村の子も参加できる。単体でやるのは難しい。子どもたちはいなくなるので、今後はここも見据えて検討してほしい。

令和11年度の休日の完全移行になったときを今から想定してもらい考えてほしい。

委員

サッカーはすでにこれまで自分達で運営してきている。70人ほどいるが、バスを購入し、町の公共施設を借りて活動していても、今はサッカーや野球などの団体競技は選手数が減ってきており、確保できない。こういう現状を把握して、危機感を持ちながら考える必要があると思う。どんなに環境を整えようとしても石川町の子どもだけではなくなっているのだから、このままだと石川町の子どもたちが他市町村に行ってしまう。町は、早々に考えてほしい。

会長

地域クラブ活動も含めて少子化問題は考える必要がある。

委員

剣道、柔道については、休日だけでなく平日も顧問がいないという問題に直面している。学校からは詳細な説明もなく8年度の部活動が心配である。

会長

校長先生から、今の意見に補足をお願いしたい。

委員（校長）

剣道、柔道は8年度からは学校教員の指導者はいない。6年度から説明はしてきた。廃部ではなく部は存続し、大会に出場はできるようにしている。ただ、通常の部活動の時間帯の指導はできない。大会に参加したい場合の手続きや引率は学校がする。土日、協力できる人がいれば受け入れる。平日は、どこかで活動する場があればそこで活動も可能。

委員

教員も納得しているのか。

委員（校長）

学校の方針として受け入れている。個人としては、違うかもしれないが、この教員がいつまでも石川中学校に居るとは限らない。異動があり、持続可能な活動ができるかという点と難しい。長い目で見ればという部分で、教員も理解していると考えている。

会長

教員数、生徒数、部活動数と今後の推移を考慮して2競技は、地域クラブ団体で活動する考えで決めたということでしょうか。

委員（校長）

学校で地域クラブ団体へ行ってくださいとは言えない。

事務局

柔道と剣道の保護者には、再度、8年度から正式に始まるのであれば、不安や疑問に答えるべきではないか。将来のこともあるが、今いる生徒の事も考える必要がある。今いる子ども達をどうするかもある必要があると思うので、再度、学校と剣道、柔道の保護者と話し合いの場を設けてはどうか。

委員

休日の部活動をどうするかも大事だが、剣道、柔道は平日もどうなるのか不安である。

委員

夕方の参加も地域展開として考えれば、外部指導者の都合に合わせて子ども達が集まり活動することは、まさに求めていることではないのか。なので、ここを先に実証的に進めてみるのはどうか。

会長

剣道、柔道を地域クラブで受け入れて、部活動として活動するのはどうか。

委員

生徒が事故や病気になった時の対応について、外部指導者だけになると、何か緊急事態の時の対応に不安があるので、顧問不在の時は保護者の協力を得るなど、外部指導者が入る事への安全安心な対策も必要ではないかと思う。

会長

事故対応マニュアルなどの作成をしてもらえるといいと思う。

事務局

短期的な課題と長期的な課題などを次回の協議会で説明できればと考えている。教育委員会教育課は、学校に関すること、生涯学習課は、地域クラブ団体に関することなど、役割分担を明確化し、人材育成や人材確保などの課題等や今後の見通しなどに取り組んでいきたい。

また、地域クラブ団体への補助については、これまで自主的に活動してきた団体との公平性なども考えていかなければならないと思っている。現在も自分達で運営しているクラブ団体があるので、そういった団体とのバランスも町は考える必要があるため、全てを支援することはできないが、円滑な地域展開に向けて、何が必要か何をしていく必要があるのか、町としても考えいきたい。これまで自主的に活動しているクラブ団体との不公平感が生じないような支援を考えたい。